

診療報酬改定 2020 の動向



回復期リハ病棟の実績評価を厳格化！ 改善状況の実態把握も進める？

2020年2月7日の中医協において、2020年度診療報酬改定に関する答申が行われ、具体的な点数が明らかになりました。

回復期リハ病棟は、実績指数の数値が厳格化され、重度者の定義にFIMを採用し改善度を記録するなどより実績重視の方向が鮮明です。

point①

入院料1、3の実績指数が厳格化！

全ての入院料での実績指数導入も視野に準備を！

今回改定では入院料1、3の実績指数が厳格化されましたが、全ての入院料への実績指数導入は見送られました。

しかし、全面的な導入は時間の問題で、実績指数要件のない入院料においても準備を進めるべきと考えます。

	2018年度	2020年度
入院料1:	37以上	⇒ 40以上
入院料2:	30以上	⇒ 35以上

【実績指数の算定式】

$$= \frac{\text{退棟時のFIM点数} - \text{入棟時のFIM点数}}{\text{入棟から退棟までの日数} \times \text{入棟時の状態に応じた算定上限日数}}$$

実績指数の改定値と実績指数の算定式

point②

改善目標の計画書への記載と説明が要件化！

目標と実績の乖離で質評価につなげる狙いか？

○旧算定要件

…FIM運動項目の得点について、その合計及び項目別内訳を説明すること

○新算定要件

、その合計及び項目別内訳を記載したリハビリテーション実施計画書を作成し、説明の上で患者の求めに応じて交付すること

回リハ病棟の算定要件(抜粋)

これまで説明のみで良かったFIM得点に関して、今回改定では実施計画書への記載と交付が要件に加わりました。

改善目標と実績の乖離を把握し、リハビリの質評価につなげる狙いでしょうか？

point③

重症者の定義にFIM得点の採用が可能に！

真の目的は改善度の数値化で実態把握か？

今回改定で重症者の評価指標として、FIM点数の採用が可能となりました。これにより重症者の回復度合を詳細に把握することができ、よりリハビリの質評価がしやすくなると考えられます。

今回は日常生活機能といずれかの選択制ですが、将来FIMに統一される可能性もあり、準備が必要と考えます。



戸田建設株式会社
医療福祉部

郵便番号 104-0032
東京都中央区八丁堀2-8-5
電話：03-3535-6271
FAX：03-3551-8916
HP:<http://medical.toda.co.jp/>